

はじめに

本書『目黒区の教育』は、令和4年度に目黒区教育委員会が取り組んだ事業内容をまとめたものです。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の波を繰り返しつつも、徐々に日常生活を取り戻す動きが進んだ一年でした。コロナ禍で取り入れてきた「新しい生活様式」の中で、GIGAスクール構想の推進や、オンラインと対面を組み合わせた生涯学習講座の実施など、工夫を凝らした学校教育、生涯学習に取り組みました。

そのような状況の下で、小・中学校においては、自然宿泊体験教室は引き続き日数を縮減して実施し、連合音楽会はマスク着用で中学校第2学年の合唱の発表を行ったほか、連合体育大会は競技数及び出場者数を一部縮小して3年ぶりに開催するなど、子どもたちの交流や活動の場は着実に戻ってまいりました。

また、教職員が子どもたちと向き合う時間を創出し、誇りとやりがいを持って勤務できる環境を確保するため、「目黒区立学校・園における働き方改革実行プログラム」を改定し、取組みを具体化し加速させました。

さらに、区立向原小学校等複合施設基本構想を策定し、建て替えに向けた取組みを進めるとともに、南部・西部地区の区立中学校統合による新設2校の統合新校整備方針を策定し、新校が目指す学校像等を示すなど、将来に向けた教育環境の整備も推進してまいりました。

令和5年5月、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行されましたが、目黒区教育委員会としては、引き続き感染症対策に留意しつつ、次代を担う子どもたちが心豊かに、健やかに成長することができるよう、学校・家庭・地域が一体となって、本区の教育力を高める取組みを推進してまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年8月

目黒区教育委員会
教育長 関 根 義 孝